

認知症対応型IoTサービス

代表提案者	特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT・クラウドコンソーシアム
対象分野	医療・福祉
実施地域	高知県高知市(横浜、塚ノ原、春野町)高知県いの町中追地域
事業概要	IoTデバイス(バイタル・環境)、音声・タップ入力(介護記録)された情報を処理し蓄積された過去の認知症ケアデータと相関(※AI)を求め、認知症の症状の特定を容易かつ的確に行い、顕著にみられる特有の行動・心理症状(BPSD)の適切な対応方法を事前予測し介護者に提案する。 これらにより①認知症高齢者へのよりの確な対応②症状緩和③介護者の負担軽減を実現する。 ※(特許題419300号)情報処理方法プログラムおよびデータベースシステム 認知症ケア学会 石崎賞3回受賞

認知症高齢者特有の課題

- ▶ 認知症は進行性の認知障害を伴い、焦燥、抑うつ状態、精神病状態といった認知症の行動・心理症状(BPSD)が高率で見られる。
- ▶ 突発的に発生するBPSDは、介護者に大きな負担とストレスをもたらし、介護費用も高く長期に渡る。
- ▶ 疾病過程の一部としてBPSDは避けられないモノであり、患者やその家族、介護者、そして社会全体にとって深刻な問題となっている。

認知症高齢者への対応の基本

1. 注意深い観察と変化する身体状態の変化を把握してニーズを見極める
2. 規則正しい生活を送らせ、身の回りのことは出来るだけ自分で行うように促す
3. 安心して過ごせる環境を整える
4. 介護サービスを活用して精神・身体機能を維持する
5. 適切な介護により家族や介護者の疲労・ストレスを軽減する

